

6. ハンズオン動画

本動画の 目的

- バリエーション分析・パフォーマンス分析・リワーク分析を理解する
- 自分で分析を実施できるようになる

目次

1. 今回利用するデモデータについて
2. バリエーション分析
 - a. 概要
 - b. みんなプロでのハンズオン
3. パフォーマンス分析
 - a. 概要
 - b. みんなプロでのハンズオン
4. リワーク分析
 - a. 概要
 - b. みんなプロでのハンズオン

今回利用する デモデータ

case_id	activity	timestamp
Case1	材料の確認	06/08/22 19:40
Case1	卵をとく	06/08/22 22:06
Case1	フライパンを温める	06/08/22 23:38
Case1	材料を入れる（卵以外）	06/08/22 23:55
Case1	火を通す	06/09/22 00:26
Case1	卵を入れる	06/09/22 00:30
Case1	米を入れる	06/09/22 00:37
Case1	仕上げ炒め	06/09/22 02:38
Case1	味見をする	06/09/22 02:38
Case2	材料の確認	06/08/22 19:39
Case2	卵をとく	06/08/22 22:12
Case2	フライパンを温める	06/08/22 23:38
Case2	材料を入れる（卵以外）	06/08/22 23:47
Case2	火を通す	06/09/22 00:19
Case2	卵を入れる	06/09/22 00:31

今回利用するデモデータ

想定場面:

チャーハンを作るプロセス

前提:

キッチンに立って料理を始めてから、
チャーハンが出来上がるまでのデータ

ケース数: 2000

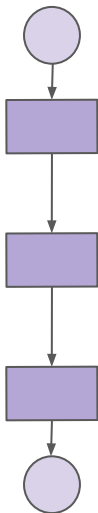


2-1. バリエーション分析(頻度分析)

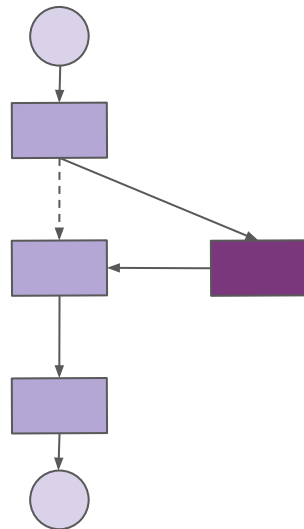
バリエーション分析(頻度分析)

バリエーションエクスプローラーによって、発生頻度順に並べてプロセスの特性を分析

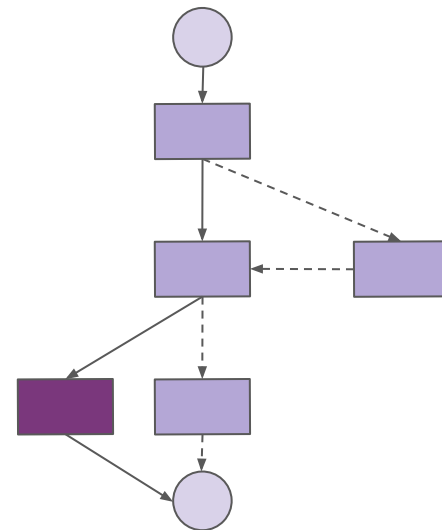
ハッピーパス
(発生頻度第1位のプロセス)



発生頻度第2位のプロセス



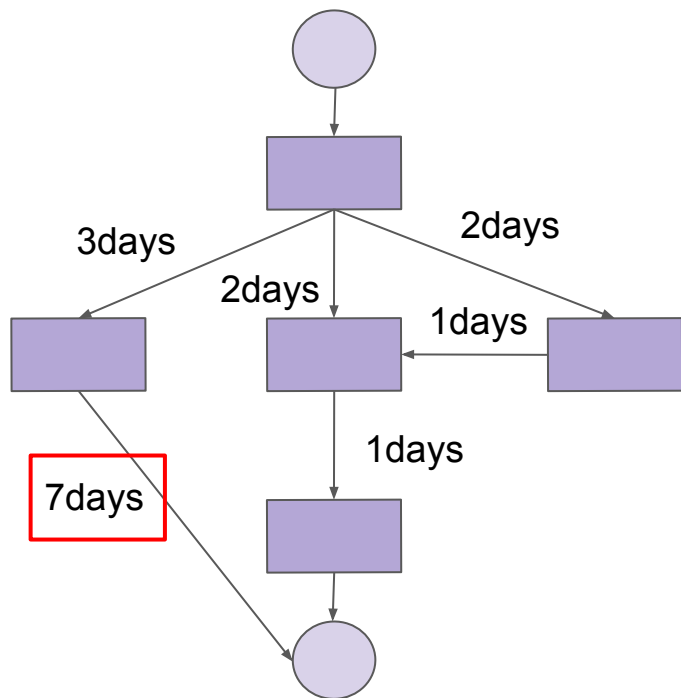
発生頻度第3位のプロセス



2-2. パフォーマンス分析(時間軸分析)

パフォーマンス分析（所要時間に着目した分析）

プロセスエクスプローラーによって、プロセス間の**所要時間**から業務改善の道筋を探る



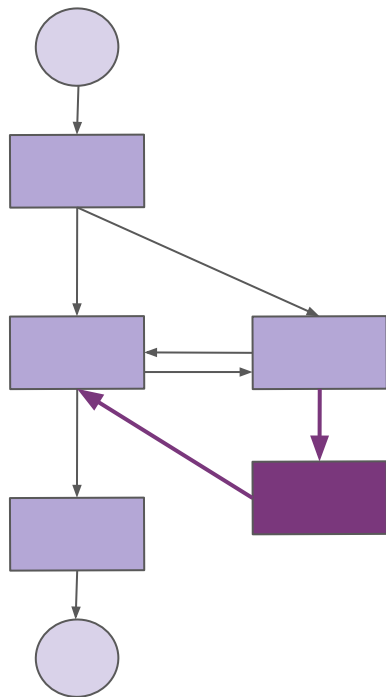
【目的】

- ① ハッピーパスと比較し、所要時間が長いアクティビティを確認するため
- ② **工数/費用削減に繋がる業務**を発見するため
- ③ 手戻りが発生している業務と関連づけて、**ボトルネック**を特定するため

2-3. リワーク分析

リワーク分析

何回も繰り返し・やり直しが発生している業務から、**工数/費用削減に繋がる業務**の発見



【目的】

- ① 想定よりもスループットタイムが長い時 **原因**となる業務を分析
- ② **工数/費用削減**可能な業務の発見
- ③ **リワークが必要不可欠**な業務の発見
(再度確認作業が必要な業務など)

APMI